

教科目名 心理学 (Psychology)

学科名・学年 : 5年全

単位数など : 選択 1単位 (後期 1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 藤田 文

授業の概要		
哲学など文科学的学問と物理学・生物学等の理科学的学問の伝統を基礎として、こころと行動の科学として発展してきた心理学の歴史的展開、心の動きの基礎や仕組みに関して蓄積されてきた知見や理論を学ぶとともに、できるだけ身近な現象や経験を通してこころとは何か、こころの安寧に何が必要かについての問題意識と理解を深める。		
到達目標		大分高専目標 (A1), JABEE 目標 (a)
(1) 心理テストの実体験によって性格テスト等の基礎的な技術を身につける。 (2) 基礎的な心理実験の経験を通して心のメカニズムに接近する科学的な方法論を学ぶ。 (3) 人間の心に関する一般的な先入観や誤解を廃して、科学としての心理学という認識を育てる。 (4) 人間関係の理解や調節に心理学の知見を活用することを学び、自らの生活経験に照合できるようになる。		
回	授 業 項 目	内 容
1	第1章 魂と体と「神」 1.1 科学としての心理学の誕生	第1章 心理学史の学習を通して心理学が自然科学の一部門として歩みつつあることと、無意識の解明の重要性を学ぶ。
2	1.2 フロイトの功罪	
3	第2章 外界と内界一心の基礎 2.1 感覚と知覚	第2章 人間の心を形成し、かつ基礎的な過程である知覚や記憶における法則について学ぶ。また、人間の行動機制を欲求充足(不満)との関係で明らかにする。これらについて、簡単な実験を通して身近な事象として理解を深める。
4	2.2 記憶と忘却	
5	2.3 欲求と行動	
6	後期中間試験	
7	後期中間試験の解答と解説	自身の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する
8	第3章 人間理解の心理学	第3章
9	3.1 葛藤と欲求不満	葛藤や欲求不満事態に陥ったときに人間が多様な反応を示すこととそこに一定の法則が存することや、それによって人の性格が捉えられることを理解する。それを人間関係の調整に活用することを学ぶ。心理テストを経験しテスト技術を学ぶ。
10.11	3.2 性格の理論とテスト	
12	3.3 こころの知能指数	
13	3.4 カウンセリングの理論	
14	後期期末試験	
15	後期期末試験の解答と解説	自身の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する
履修上の注意	心理学は机上の知識の学問ではない。具体的なこころの体験と結びつけて理解しなければ役に立たない。授業に関する資料を進行にあわせて配布するから、よく消化しておき、そこでの理論と実際の体験とを結びつけておくこと。実験や心理テストの経験を行うので、その結果についてきっちりと分析してレポートを提出すること。	
教科書	授業の進行に合わせて教材を資料として提供する。	
参考図書	梅本堯夫・大山正編著「心理学への招待」サイエンス社	
関連科目	社会学	
評価方法	最終成績=0.8×(21回の定期試験の加重平均)+0.2×(課題点)	